

日本地形学連合2013年秋季大会 ミニシンポジウム「地震災害とその後—地形学からの情報発信」

日時: 9月13日, 13:50-16:30

会場: 東北学院大学土樋キャンパス 8号館 押川記念ホール

(〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1)

JR仙台駅から徒歩20分または地下鉄五橋駅から徒歩5分

大会ウェブサイト <http://www.jgu.jp/announce/2013/2013announce03.htm>

オーガナイザー 日本地形学連合行事幹事

趣旨説明: 島津 弘(立正大)

話題提供:

宇多高明(土木研究センター): 地震と津波の戻り流れによる砂浜と河口砂州の急激な侵食と波による復元

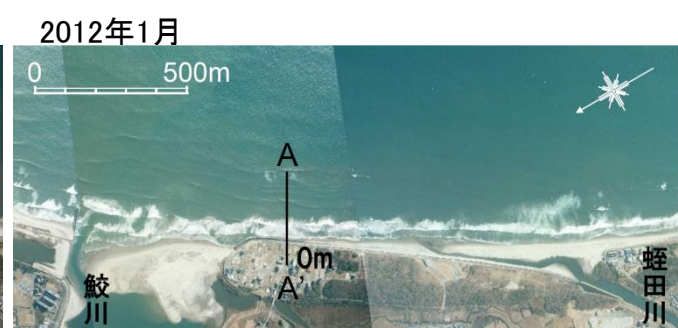
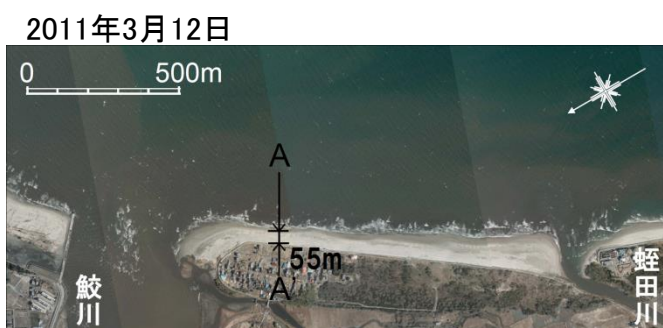
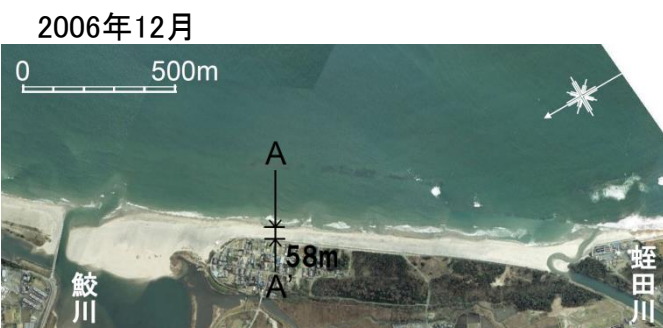
佐藤 浩(日本地図センター)・宮原伐折羅(国土地理院): SAR干渉画像で検出した2011年東北地方太平洋沖地震と2008年岩手・宮城内陸地震における地すべり性地表変動

宮城豊彦(東北学院大学)・佐藤英和(栗原市): 大規模な土地災害を契機にジオパークを構築する工夫

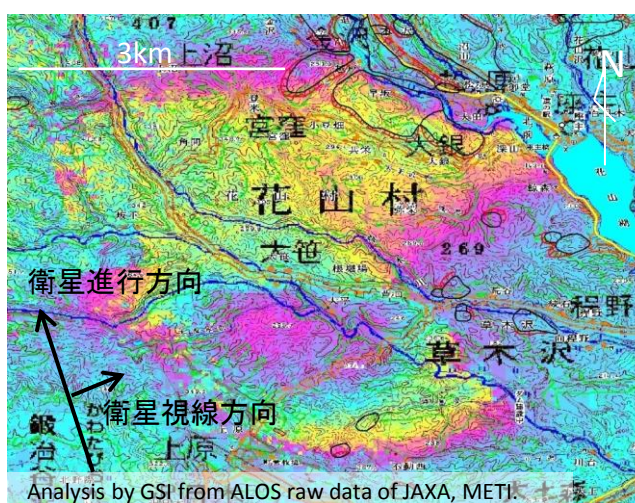
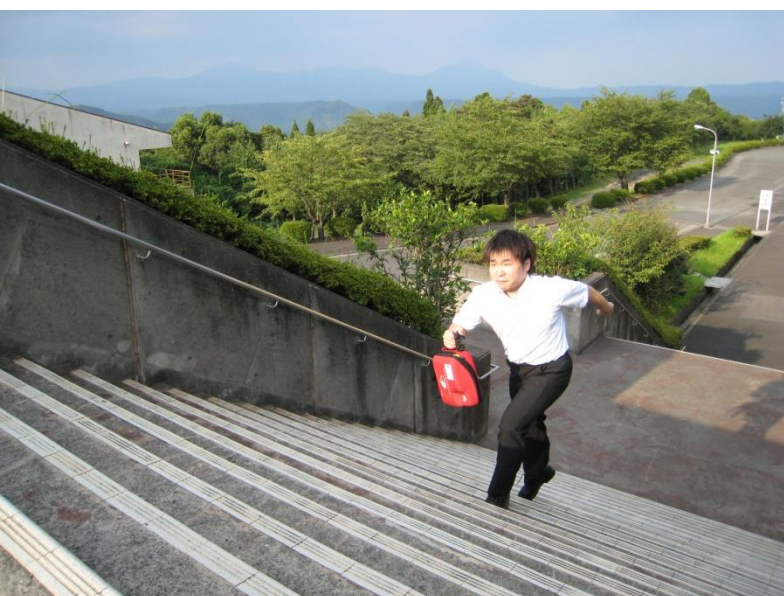
岩船昌起(鹿児島大): 人間行動と地形環境のかかわり—避難路や仮設住宅の立地を考える

コメント: 田村俊和(立正大)

総合討論: 司会 島津 弘(立正大)・瀬戸真之(福島大)

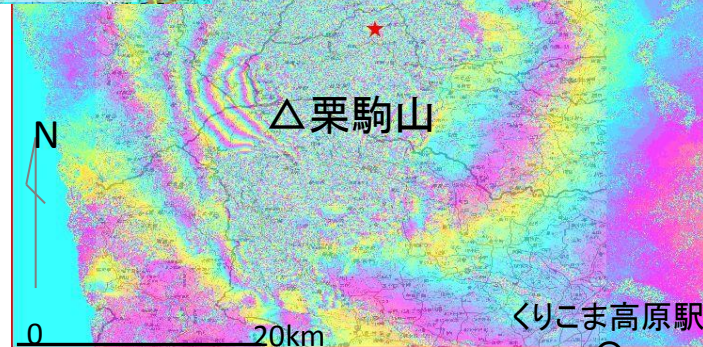


宇多高明氏: 津波前後の福島県鮫川河口



佐藤 浩氏:
地表変動を示すSAR干渉画像

Analysis by GSI from ALOS raw data of JAXA, METI.



左上
岩船昌起氏:
地形に制約された階段を上る

左
田村俊和氏(写真提供):
荒砥沢地すべり

入場無料
どなたでも
参加できます

お問い合わせ 日本地形学連合事務局

TEL: 0774-38-4097 e-mail: kazuko@slope.dpri.kyoto-u.ac.jp